

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) ソーシャルワークの基盤と専門職		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 濱田 新	科目コード 3006
回数 15回	時間数 (単位数) 30時間	配当学年・時期 1年 前期	必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 講義・演習を通して、社会福祉士に必要なソーシャルワークのスキルを学び、利用者を尊重した相談援助及び関係機関との連携を意識した相談援助について理解する。 【授業全体の内容の概要】 ソーシャルワークの歴史を知り、相談援助の専門職としての価値を理解し、社会福祉士の役割や使命を意識したソーシャルワークの実践について理解する。 【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 1. 社会福祉士法及び介護福祉士法、精神保健福祉士法の内容を説明できる。 2. ソーシャルワークの定義（ソーシャルワーク専門職のグローバル定義）を説明できる。 3. ソーシャルワークの原理、理念等を説明できる。 4. ソーシャルワークの形成過程、歴史を説明できる。 5. ソーシャルワークの倫理を説明できる。				
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ① 2. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ② 3. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ③ 4. ソーシャルワークの概念① 5. ソーシャルワークの概念② 6. ソーシャルワークの基盤となる考え方① 7. ソーシャルワークの基盤となる考え方② 8. ソーシャルワークの基盤となる考え方③ 9. ソーシャルワークの形成過程① 10. ソーシャルワークの形成過程② 11. ソーシャルワークの形成過程③ 12. ソーシャルワークの形成過程④ 13. ソーシャルワークの倫理① 14. ソーシャルワークの倫理② 15. ソーシャルワークの倫理③ 前期末試験				
【使用テキスト・参考文献】 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (中央法規出版株式会社) 社会福祉小六法 2024 令和6年版 (ミネルヴァ書房)		【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況等から総合的に評価し、単位認定を行う。 下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、前期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。		